

ほっとCommunication

2017年 7月発行
第75号

発行 後援会
印南 宏
発行責任者 印南 宏



我が家の小さな庭に紫陽花が咲いています。紫陽花の発色は雨や曇天だからこそ映えると言われていますが、この梅雨が過ぎると、本格的な暑い夏がやってきます。今の内に体力をつけて、この夏を乗り切りたいと思っています。今日この頃です。皆さま、如何お過ごしでしょうか。

都議選「小池旋風の行方」

この「ほっとコミュニケーション」第七十五号」が皆様の手に届く頃は、東京都議会議員選挙も終了していることと思います。結果はどうあれ、今回の都議選は国政への影響が大きいといった点では、注目に値する選挙です。なぜなら、これまで長い歴史を刻んできた都政において、自公の連立が崩れた意味は大きいと考えるからです。「都民ファーストの会」が、これからのように変化をしていく

のか、よくわかりませんが、小池知事の頭の中には、国政への夢、「女性初の総理」という目標があるように思えてなりません。二〇二〇年の東京オリンピック・パラリンピックを前に大きな政治の変化が起こることは間違いないと思っています。

安倍政権一強のおごり

先月の半ば、通常国会が閉幕。象徴的だったことは、いわゆる「共謀罪」法案の強硬採決がありました。自公による与党一強のおごりなのか、委員会の審議を打ち切る「中間報告」を繰り返して法案が成立しました。地方議員の私から見ても、「言論の府」である国会にしてあるまじき行為であり、数の横暴に思えてなりません。国会の答弁も、質問にまともに答えない姿は日常茶飯事の光景となり、国会の答弁があまりにも雑に聞こえてきます。我孫子市議会の方がしつかりとした誠実な答弁をしています。国会がこのような姿になったことが残念でなりません。「あるもの」を「ない」と言いくるめる場面、官房長

官が「怪文書」と断定した加計学園にからむ「総理のご意向」の文書は、後に存在を認めざるを得なかったことなど、圧倒的な権力を握る内閣の要が、一個人をおとしめる姿は、為政者が決して行ってはいけないことなのだ、多くの国民が思っていることだと考えます。あまりに国民を軽視していると、後で大きなしっぺ返しがあるものと私は思っています。

流行語大賞と改憲の動き

今国会は「付度」^{そんたく}「印象操作」など、今年の流行語大賞になるのでは、と思われる言葉がたくさん出ているように思っています。しっかりと政府が答えを出さないうちで、政治が次々と決められていく、政治に公平性がなければ、国民の理解は得られないものと考えます。自民党の前防衛相だった中谷元氏は、安倍晋三首相に「あいいうえお」の五文字を贈りたいと報道がありました。「焦らず、威張らず、浮かれず、えこひいきせず、おごらず」、そして人から疑われるようなことはしない

方がよいとの意味で、「李下に冠を正さず」と、疑惑が生じたら真摯に説明をしなければ、国民の理解は決して得られない。印象操作など連呼している場合ではない、との言葉でした。

今後、数の力で日本の平和と民主主義を支えてきた憲法の改正に突き進むものと考えられます。日本の政治の危機が迫っているものと私は強く感じています。

《政治に無関心でも生きて行くことはできるが、政治に無関係ではけして、生きて行くことはできない。》

印南 宏 現在の主な役職

- 我孫子市議会 議員 副委員長
- 我孫子市議会 常任委員会 副委員長
- 我孫子市議会 特別委員会 副委員長
- 我孫子市議会 審議委員 副委員長
- 我孫子市議会 未来代表 議員の会 副会長
- 我孫子市議会 便利にする 議員の会 副会長
- 我孫子市議会 議員団会議 前幹事長
- 我孫子市議会 議員団会議 ブロック幹事
- その他
- 我孫子市サッカー協会 顧問
- 我孫子市ソフトボール協会 顧問 など

◆六月定例会市議会◆

六月五日(月) 〃
六月二十一日(水) 十七日間

《主な議案》

六月定例会市議会は一般会計補正
予算案など六議案、報告事項(含
む専決処分) 九件

○手賀沼親水広場の設置及び管
理(コインロッカー及び望遠
鏡の使用料)

○ふれあい工房の設置及び管理
(障害者の使用に関する減額)

○手数料条例の一部改正(低炭
素化の促進に関する条例等の
創設)

○一般会計補正予算(二千万
円を補正、二十九年度一般会計
三百七十六億六千万円)

《主な争点》

六月議会の市政一般報告で長
年の懸案事項として取り組ん
できた住工混在解消の実現に向
けることが発表されました。度重
なる事業の失敗に所管する環境都
市常任委員会では、住工混在解
消策、企業立地推進について、
市は本当に事業を進める覚悟が
あるのかなど、多くの疑問の声
が出されました。

我孫子市は三十年以上前から、

住工混在解消策の必要性が叫ば
れています。首都圏の住宅都市
として発展する中、東葛六市の
中で唯一、工業団地がいか所も
存在しない自治体となっていま
す。加速する少子高齢化や生産
人口の減少などにより、今後、
税収の減少が予想され、市の財
政に大きな影響を及ぼすことが
考えられます。今日まで、雇用
の安定化や税収の確保、財政基
盤を強化するために、市内に新
たな産業用地を創出し、企業が
進出・操業しやすい環境づくり
に努めてきましたが、事業を前
進させることができないでいま
す。持続可能な我孫子市を運営
していくには、住工混在解消を
含めた工業団地の確保は避けて
通れない喫緊の課題となっております。
(全議案可決承認)



6月議会 印南宏の個人質問

1 広報 広聴戦略 広報戦略の基本方針

- ・広報あびこ」の配布方式 マスメディアの活用と強化策
- 多様な広報媒体の活用策 職員の意識改革と広報技術力の向上

2 空き家対策 平成28年度空き家等実態調査結果

- 特定空き家 空き家利活用のためのアンケート結果
- 地区別空き家実態の分析 空き家管理の充実とバンクの創設

3 新木駅周辺のまちづくり 下新木踏切拡幅と新木駅北口広場の整備

- 下新木踏切の拡幅と南北道路の早期整備
- 新木駅北口広場の実施計画への位置付けを

■宏はこう考える

個人質問から抜粋

《広報・広聴戦略について》
昔、まちづくりが行政主体で
行われていた頃の自治体の広報
は、行政から市民の皆さんへの
お知らせが中心の「お知らせ型
広報」でした。もちろん昔は、
それでよかったです。時代

が大きく変わり、市民との協働
でまちづくりを行っていかなく
れば持続可能な自治体経営が出
来なくなってきたという昨今、市
民とのコミュニケーション手段
である広報・広聴活動は、大変
重要な戦略事項となっています。
ここでいう、広報とは市政情報
をお知らせする意味であり、広
聴とは、市民の皆さんの意見を
お聴きするという意味で、互い
に双方向、インタラクティブ
な関係を示しているものです。
これからの広報活動のあり方
として、新聞やマスメディアを
通じた広報、パブリシティ活動
の充実・強化がさらに必要とな
っています。なぜなら、パブリ
シティ活動による広報は情報の
速報性や市民への浸透度が高い
うえに、経費がかからないとい
ったメリットがあるからです。
当市は、魅力発信室を中心にマ
スメディアに取り上げてもらえ
るようなアピール度の高い、他
市との差別化をはかる情報を積
極的に出すように努力をしてい
ますが、今後さらなるマスメデ
ィアを積極的に活用するための
工夫や、良好なマスメディアと
の関係構築に向けた手法等が必
要と考えています。



「空き家対策」

買い手や借り手も見つからず、壊すにも費用がかかるなど、空き家が増え続けている。防犯上の問題や倒壊の恐れもあるような「特定空き家」となってしまう前にどう活用していくのか。各自治体の知恵比べが全国各地で鋭意行われています。

我孫子市は平成二十八年度に行った「※空き家等実態調査」をもとに、平成二十九年度中に空き家等対策協議会を通じて、空き家に対する取り組み方針や適切な管理事項などを盛り込んだ空き家等対策計画を策定する予定となつています。私は所有者が遠隔地に住んでいるなど管理が届きにくい方々に対して、民間企業だけに空き家管理を任せるのではなく、シルバー人材センター等を活用した管理サービスを構築し、高齢者の就労機会の向上を含めた施策を導入してほしいと考えています。また、移住、定住推進策として空き家バンクを創設し、特に東側地区をターゲットにした空き家の利用促進策を進めてほしいと提案しています。

※二十八年度空き家実態調査結果・我孫子市内の空き家総軒数七百二十五軒、特定空き家

候補軒数二百二十軒、特定空き家と指定された件数は十一軒。



「どうする議員定数の見直しは！」

我孫子市議会は、議会基本条例に基づき、五月二十日、二十一日の二日間、第三回議会報告会を市内四会場で実施しました。今回の議会報告会は、会場を天王台地区で一か所増やし、平成二十九年三月議会で審議した二十九年度当初予算に関する報告そして議員定数の見直しについて市民の皆さんから意見をいただく内容で実施しました。特に、議員定数については今回の意見に基づいて議会運営委員会等で今年中（十二月定例市議会）に結論を出す形で進めていく予定となつています。

報告会では、参加者総数七十八名、六十歳以上の方が九割を占めていました。開催日時が運動会などの行事とかさなり、日程について調整が必要との反省点もあります。議会報告会に参加された皆様からは九割を超

える方から参加してよかったと回答をいただきました。そして、今回の議会報告会の焦点である「議員定数」については、参加者の六割の方から現在の議員定数二十四名について、適当、やや少ない、少ないという回答でした。定数が多いのではという回答は二割五分でした。これらを含めて、今後、さらなるアンケートを行うのか、専門家の意見を聞くなど、十二月に向けて、議会としての結論を出していく予定です。



第3回我孫子市議会議会報告会

※詳細は議会だより、市議会HPの録画等、いつでもみることができます※

http://www.discussvision.net/abikosi/2.html

労働相談 0120-154-052

◆お知らせ◆ 第五十回日本女子オープンゴルフ大会が「我孫子ゴルフ倶楽部」で開催へ！

我孫子市内の名門ゴルフ場「我孫子ゴルフ倶楽部」で今年九月二十八日～十月一日、国内ゴルフツアーのメジャー大会「第五十回日本女子オープンゴルフ選手権」(日本ゴルフ協会主催)が開催されます。二〇〇九年以来、八年ぶりの開催となります。

我孫子市は今年、最大のイベントと位置づけて、街をPRする絶好のチャンスと捉え、来訪者のおもてなしや地域経済の活性化に繋げるべく準備を進めています。今年二月には我孫子PRプロジェクト実行委員会も発足し、女子プロゴルフ大会の最高峰の大会として、第五十回の大会が成功裏に終われるように市を挙げて努めています。





我孫子雑感

◆今、教育の無料化が叫ばれている。六月定例市議会で学校給食の無料化が論議された。私も無料化は時代の流れであり、老朽化した給食施設、減少する児童生徒数、人件費の負担など、大いに知恵を出して無料化に向けて検討する時期にきていると議会でも要望した。教育長からは、「学校給食の無料化は子育て世代の定住化につながることで、平成三十年以降に予定されている学校の個別施設計画の策定する際、児童、生徒の減少を加味して、学校給食も含めた効率的な施設整備方針を作成するなど、今後、学校給食の無料化に向けた取り組みを検討する。」との回答だった。その他、私は学校給食費の未納問題を取り上げた。納める能力がある保護者が給食費を滞納している問題。忙しい学校現場で、本来であれば教育の充実に取り組まれるべき時間、労力が滞納処理に時間がかかり負担になっていることは問題である。滞納家庭への就学援助制度の周知はもちろん、滞納事務のルール化、未納問題対応マニュアルの作成など、現場に負担

がかからないシステムの構築も必要となっている。

◆都議会議員選挙が行われている。私はブームを巻き起こしている「都民ファースト」、小池都政の是非を問う選挙ではないと思っている。あくまでも、都政を監視、チェックするのにふさわしい都議会議員を選ぶ選挙である。なぜなら、地方自治体の首長(知事)、議員も住民による直接選挙で選ばれる。つまり、国と違って、地方自治体は二元代表制で運営されている。知事が地域政党をつくり、代表として君臨する。それは本来の二元代表制とは違うのではないかと思っている。本来、地方議会には与党も野党も無いのである。そうでなければ、地方自治体における本来の議会の役割を果たすことはできない。私はいつもそのように思っている。



◆今年五月、私は所管常任委員会の視察として「認知症初期集中支援チーム促進モデル事業」を行っている先進地、長野市を視察した。我孫子市も来年一月

から、認知症初期集中支援チームを立ち上げ、サービスを開始する予定である。高齢者が増え続ける、認知症が増える時代、国のオレンジプランにある認知症の必要性は日増しに高まっている。来年一月のサービを開始する。周知活動の徹底が必要である。また、チームで対応することで、多職種の視点で問題点を多角的にとらえることが可能となり、認知症専門医との連携の強化など、今後の認知症初期集中支援チームの事業効果が期待されている。

◆高校野球界注目の強打者は、早実の「清宮幸太郎」、将来の野球界を背負っていく逸材になるだろう。そして、将棋の世界では史上最年少プロ棋士となった「藤井聡太」四段(十四歳)である。二人とも天才だが、史上最年長棋士の加藤九段の引退が決まった翌日に、史上最年少棋士の藤井四段が公式戦二十八連勝を達成した。世代交代が加速する極めて象徴的な記録である。人口知能(AI)の話題に事欠かないご時世であるが、藤井四段は幼少期から天賦の才に加え、きつとコンピュータ、イン

ターネット等を活用した対局で最善手を見いだす力を培い、実力を飛躍的に伸ばしたものと思われる。まだ中学生で経験の乏しい年齢にもかかわらず、ずば抜けた集中力の高さ、予想外の手を指されても動揺しない精神的な強さは、いったいどこから来るのであろうか。ご両親から聡太棋士をどのように育てたのか、教えてほしいと思っっているのは私だけだろうか。

宏



印南 宏 後援会

〒270-1108

我孫子市布佐平和台 7-1-18

TEL : 7189-1598

E-MAIL : hiroinabiko@kca.biglobe.ne.jp

ブログ : http://hiroshi4649.at.webry.info/

HP http://www7b.biglobe.ne.jp/~innami-hiroshi/